

鷺宮すこやか福祉センター共催

～世代間交流クッキング～

みんなで楽しく セタくっきんぐ

7月5日（土）午前10時～午後1時半

鷺宮小学校 家庭科室



## 献立

きらきらセタそうめん、ラタトゥイユ、長芋と豚肉のはさみ焼き、バナナシェーク

鷺宮すこやか福祉センターとの共催で、鷺宮小学校の家庭科室で開催しました。鷺宮小の親子、地域高齢者、東京農大の学生ボランティア、区の職員、運営委員会事務局の計48名で、6グループに分かれて調理・会食をしました。子供達は野菜を切ったり、そうめん



にのせるウズラの卵の織姫・彦星・サンタの顔を作ったり、学生さんに手順を教えてもらったりしながら楽しそうに作っていました。長芋には小麦粉をまぶすと滑りにくくなり、ひき肉がはさみやすい。薄焼き卵を作る際には小麦粉を入ると破れにくい、などの大人の知恵を、大学生や若いお母さんが子供達に伝えるというような交流が生まれました。食後学生さんによる「食育ワンポイント講座」が行われ、クイズ形式で献立の食器を置く位置や、ためになる栄養のお話を聞きました。会の始めと終わりに、農大名物大根おどりも披露され、最後はすっかりなついた子供達が、大根を持って一緒に踊っていました。地域の様々な世代の方と一緒に、季節の献立を作って歓談しながらおいしくいただいた有意義な一日でした。

